

交	これから取り組むこと（大目標）		協働の取組	関係する係	関係する係における取組	取組実績	関係する係における取組					
	これから取り組むこと（小目標）						平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
2 暮らしやすい移動・交通の仕組みをつくらう	1. 助け合いの移動・交通システムを広げよう											
	(1) 助け合いの移送サービスの輪を広げよう		① 助け合いの移送サービスを実施する地域福祉推進組織やボランティア団体の活動を支援します。	地域福祉推進係 生活支援係	・ 財政的、技術的支援及び情報提供等を行います。	・ 車両の提供や財政的支援を継続した。 ・ 活動団体の定例会等に出席し、課題解決や新しい仕組みづくりについて市関係課と共に支援を行った。 ・ 飯能運転ボランティアグループ「相輪」が安全かつ円滑に活動できるよう定例会に出席し技術的支援、情報提供を行った。また、グループの活動の継続を担保できるよう、活動実績に応じた助成金交付要領を設置した。		継続				
			② 地域の実状に合った移送システムについて、市民、市、関係機関などの話し合いの場を設定します。	地域福祉推進係 生活支援係	・ 市との協議を行います。	・ たすけあいあがの移動交通部会には、必要に応じ市交通政策担当にも出席いただき、今後の活動の方向性を協議した。		継続				
			③ 福祉有償運送の実施について検討します。	地域福祉推進係 生活支援係	・ 県内社協の実施状況の調査などを実施し、社協が実施する必要性について検討します。	・ 取組みなし		検討		方針決定		
	(2) 移送ボランティアを育成しよう		① 移送ボランティア育成講座を開催します。	地域福祉推進係 生活支援係	・ 市民の幅広い層に参加してもらえよう、ボランティアセンターと内容を検討し実施します。	・ 移送ボランティア育成講座を開催することはできなかったが、第2回ボランティア交流会に協働団体として参加し、活動内容の体験・紹介を行った。		継続				
			② 移送ボランティアの活動の自立に向けた支援をします。	地域福祉推進係 生活支援係	・ 福祉有償運送やNPO法人設立、支えあいサービスの実施など、多方面から検討を行い、支援に努めます。	・ たすけあいあがの移動交通部会については、今後の活動内容の見直しを行うためのスケジュールを決め、平成28年度に方針を決定し平成29年度から新たな活動方針で実施することが決定した。 ・ 飯能運転ボランティアグループ「相輪」定例会において行われた、NPO法人立ち上げ協議に同席した。また、財政的な自立が図れるよう、グループの活動実績に応じた助成金交付要領を設置した。		継続				
	2. 誰もが外出しやすい環境をつくらう											
	(1) 安全な道路等の環境を整備しよう		① 福祉教育などを通じて、市民が安心・安全に歩くことができる思いやりの心を啓発します。	地域福祉推進係	・ 福祉教育などを通じて、他人を思いやる心を啓発します。	・ 職員が市内小中学校及び大学において、講演や疑似体験指導等とおして他人を思いやる心の啓発を行った。	・ 小中学生については、新メニューでの福祉教育を提供します。		継続			

